

施策番号	2503		
施策名	都市活動を支える社会資本の維持管理		
概要	道路や橋りょうなど市民生活に不可欠な社会資本の維持管理について、日々の点検とともに、これまでの「壊れてから直す」対処療法的な維持管理から、「壊れる前に対策する」予防保全型の管理手法に移行し、計画的かつ効率的に推進する。		
担当局・部室	建設局・土木管理部	共管局・部室	
上位政策	25 道と緑		
施策に関する 主な分野別計画等			

施策の評価

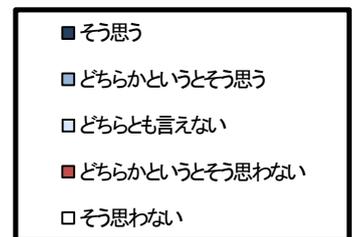
1 客観指標評価

指標名	年度	年度	23年度評価					
			前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標のウエイト
1 生活道路における舗装アセットマネジメント導入率(%)	-	-	0	15	8.5ポイント増	176.5%	a	1.00
2 幹線道路における舗装アセットマネジメント導入率(%)	-	-	76	76	2.4ポイント増	0.0%	e	1.00
3 橋りょうにおけるアセットマネジメント導入率(%)	-	-	-	-	-	-	-	-
4 -	-	-	-	-	-	-	-	-
5 -	-	-	-	-	-	-	-	-
6 -	-	-	-	-	-	-	-	-
客観指標総合評価							C	

2 市民生活実感評価

*この評価は、毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

設問	23年度回答						有効回答者数	評価
	そう思う	どちらかと言うとそう思う	どちらとも言えない	どちらかと言うとそう思わない	そう思わない			
1 市内の道路や橋が、市民の財産として、よい状態で管理されている。	37 6.7%	183 33.2%	218 39.6%	71 12.9%	42 7.6%	551	c	
2 -							-	
3 -							-	
4 -							-	
5 -							-	
市民生活実感調査総合評価							C	



3 総合評価(客観指標総合評価+市民生活実感調査総合評価)

C	施策の目的がそれぞれ達成されている					年度	-
	重み付け	<input checked="" type="checkbox"/> 客観指標	c	<input type="checkbox"/> 市民の実感	c		
(重み付けの理由) 道路・橋りょうの老朽化の程度や、補修の状況などは市民に成果が実感されにくいいため、客観指標評価を重視する。						年度	-
(原因分析) ・客観指標1について、公共物GIS(地理情報システム)の導入により、集計が困難であった点検総延長が集計しやすくなり、点検調査が進んだため、a評価となった。 ・客観指標2について、交通量10,000台/日以下の幹線道路について、職員の徒歩による点検が進まなかったため、e評価となった。 ・客観指標3について、橋りょう詳細点検(680橋)が終了し、平成23年度から新たにアセットマネジメントの導入に取り組んでいるため、評価は次年度から行う。						年度	-

今後の方向性の検討

<この施策を構成する事務事業>

	事業名	事業費の状況(千円)		23年度事務事業評価結果における目標達成度評価	担当局
		22年度決算額	23年度予算額		
1	橋りょう調査	21,924	5,196	-	建設局
2	橋りょう補修	353,962	778,842	-	建設局
3	排水機場維持補修	212,165	273,242	-	建設局
4	建設局高度情報化の推進	22,003	25,165	-	建設局
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					

*予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

<今後の方向性>

・道路について、職員の徒歩による点検がより多く必要となるため、業務の更なる効率化を推進し、調査に当たる。また、外部委託なども検討していく。
 ・「いのちを守る 橋りょう健全化プログラム」に基づき、橋りょうのアセットマネジメントを実施していく。

施策名	2503	都市活動を支える社会資本の維持管理
-----	------	-------------------

指標名	生活道路における舗装アセットマネジメント導入率(%)
-----	----------------------------

担当課	調整管理課	連絡先	222-3568
-----	-------	-----	----------

1 指標の説明

施設の中長期的な劣化予測を行うとともに、予算の制約のもとでいつどのような対策を、どこで行うのが最適であるか体系的に意思決定する手法を、生活道路舗装に導入した率

2 指標の意味

生活道路の計画的かつ効果的な維持管理を行う取組状況を示す指標

3 算出方法・出典等

算出方法：点検済延長÷点検対象延長
出典：事業担当課調べ

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		達成度
	21年度	22年度		数値	根拠	
数値	0	15	15ポイント増	8.5ポイント増	(点検対象延長-点検済延長)÷残年数	176.5%

	全国順位	中長期目標			備考
		数値	目標年次	達成度	
数値		100	32年度		完全導入を目指す。

5 評価基準

単年度の目標値に対する達成度が
a：80%以上
b：60%以上～80%未満
c：40%以上～60%未満
d：20%以上～40%未満
e：20%未満

6 基準説明

目標年次までに完全実施するために必要な%を単年度目標とし、80%以上をaとし、以下20%刻みで基準を設定した。

7 評価結果

		23
-	-	a

指標名	幹線道路における舗装アセットマネジメント導入率(%)
-----	----------------------------

担当課	調整管理課	連絡先	222-3568
-----	-------	-----	----------

1 指標の説明

施設の中長期的な劣化予測を行うとともに、予算の制約のもとでいつどのような対策を、どこで行うのが最適であるか体系的に意思決定する手法を、幹線道路舗装に導入した率

2 指標の意味

幹線道路の計画的かつ効果的な維持管理を行う取組状況を示す指標

3 算出方法・出典等

算出方法：点検済延長÷点検対象延長
出典：事業担当課調べ

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		達成度
	21年度	22年度		数値	根拠	
数値	76	76	増減なし	2.4ポイント増	(点検対象延長-点検済延長)÷残年数	0.0%

	全国順位	中長期目標			備考
		数値	目標年次	達成度	
数値		100	32年度		完全導入を目指す。

5 評価基準

単年度の目標値に対する達成度が
a：80%以上
b：60%以上～80%未満
c：40%以上～60%未満
d：20%以上～40%未満
e：20%未満

6 基準説明

目標年次までに完全実施するために必要な%を単年度目標とし、80%以上をaとし、以下20%刻みで基準を設定した。

7 評価結果

		23
-	-	e

施策名	2503	都市活動を支える社会資本の維持管理				
指標名	橋りょうにおけるアセットマネジメント導入率 (%)					
担当課	調整管理課	連絡先	2 2 2 - 3 5 6 8			
1 指標の説明						
施設の中長期的な劣化予測を行うとともに、予算の制約のもとでいつどのような対策を、どこで行うのが最適であるか体系的に意思決定する手法を、橋りょうに導入した率						
2 指標の意味			3 算出方法・出典等			
社会資本が良好に保たれていることを示す指標			算出方法：執行事業費÷総事業費 出典：事業担当課調べ			
4 数値						
	前回数値 年度	最新数値 年度	推移	目標値		
数値	-	-		数値	根拠	
				-	(100-執行率) ÷ 残年数	
	全国順位	中長期目標			備考	
数値		数値	目標年次	達成度		
					平成23年度から新たに取り組むものであり、目標設定及び評価は次年度から行う。	
5 評価基準		6 基準説明		7 評価結果		
単年度の目標値に対する達成度が a：80%以上 b：60%以上～80%未満 c：40%以上～60%未満 d：20%以上～40%未満 e：20%未満		目標年次までに完全実施するために必要な%を単年度目標とし、80%以上をaとし、以下20%刻みで基準を設定した。			23	
				-	-	